

(第2号様式)

中商第 2331 号
令和 8年 2月 20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立中部商業高等学校
校長 松村嘉英
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月7日	大会議室・視聴覚室	評議員5、校長、教頭2、事務長、各部主任2、学科主任2
第2回	令和7年11月21日	小会議室・体育館	評議員4、教頭2、各部主任4、学科主任2
第3回	令和8年1月28日	本校大会議室	評議員5、校長、教頭2、事務長、各部主任及4、学科主任2

2 学校評議員に求めた事項

- 本校の教育目標および本年度の重点目標などについて
- 各部署・各学科における教育活動の実施状況や成果、課題について
- 躰集会および生徒の活躍について
- 校内の支援体制および個別対応の取り組み状況について
- 学校評価について

3 学校評議員の意見

- 退学者が減少したことについて具体的な対策やどのような寄り添い支援を行ったのか。
- サポートルームまあるの運営を継続・充実させて欲しい。
- 挨拶ができる生徒が多い。
- 校訓は、社会に出ても大切な要素が含まれている更なる周知を図って欲しい。
- 志願倍率の向上に向け、さまざまな方法で改善に努めて欲しい。
- 今年度は、校内の環境や生徒の活躍を実際にみることができ、充実した評議員会であった。

4 学校運営に反映した事項

- 生徒を取り巻く支援体制の充実を図り、学校が安心できる居場所である認識のもと、面談などを粘り強く実施している。今後も一人一人に寄り添いながら丁寧な支援を継続していく。
- 毎月の集会等で、挨拶を交わす大切さを教えている。今後も継続的に指導を行い望ましい人間関係の醸成を図っていく。
- 志願倍率の向上に向けて、学校紹介や広報活動を充実させ、教育内容の発信に取り組んでいく。

5 課題その他

- 学校の特色や成果について、積極的に地域や中学校へ発信していく必要がある。
- 校内支援体制の持続的な運営に向け、引き続き体制の整備・充実に取り組む必要がある。
- 入学志願者数の確保に向け、定員割れ対策を講じる必要がある。